

年 組 名前:

学校特色 オンラインで紹介

甲府・大国小6年3組の児童は23日、愛媛・四国中央市の寒川小の6年生とオンラインで交流した。両校は昨秋、四国中央市教委が大国小のICT（情報通信技術）教育を視察したことをきっかけに、児童が継続的に交

山梨の特産品や学校の特徴を
発表する児童＝甲府・大国小



大国小と愛媛の児童交流

流。それぞれ住んでいる地域や学校の特徴をまとめる活動に取り組み、成果をスライドにまとめて23日に発表した。

昨年11月に四国中央市教委が、先進的にICT教育に取り組む大国小を視察。両校の児童はその後、給食やレクリエーションの様子などをチャットや動画を使って紹介し合うなど交流を続けている。

交流の一環として、プレゼンテーション力の向上も図ろうと、それぞれが地域や学校について調べ、スライドや動画を作成。23日は両校の教室をオンラインで結び、まとめた内容を披露した。

大国小の児童は、山梨の特産品や名所、ほろどうの作り方を説明した。学校紹介の内容に関連したクイズも制作。寒川小の児童が各自のタブレット端末で解答し、早押しで正解した順位を競い、盛り上がった。寒川小側は市や学校の特徴を発表した。

大国小の保坂流生さんは「会えるか分からない人たちと交流できて楽しかった。山梨にはない特産品が愛媛にあり、行ってみたいと思った」と感想。担任の和地勲教諭は「子どもたちが学校や甲府を見つめ直す機会になり、四国や愛媛に興味を深めるきっかけになった」と話した。

〈杉原みずき〉

(2024年1月30日付 山梨日日新聞16面)

問1

甲府市の大国小は、なにがきっかけで愛媛県の寒川小と交流が始まりましたか。

問2

大国小の児童は、交流の中で、なにを行いましたか。

問3

担任の先生は、交流をすることで、なにが良かったと話していますか。